

「子どもの犯罪防止対策に関するPT」における猪口大臣挨拶
(2006年9月19日於党本部702号)

内閣府特命担当大臣の猪口邦子でございます。

中山プロジェクトチーム会長を始め各先生方におかれましては、平素から青少年の育成施策の推進に御理解と御協力を賜り、政府を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

さて、前回の第一回会議からわずか十日ほどしか経っておりませんが、この間にも、四歳の子どもの母親から十分な食事を与えられず死亡した児童虐待事件が発生しましたほか、全国のパチンコ店の駐車場で今年四月から八月の間に二十七人の子どもが車内から救出されていたことやシュレッダーで子どもが指を切断していた事故が新たに七件起きていたことが判明しました。また、昨年度の小学校における児童の校内暴力の件数が過去最高となっていたことも判明するなど、子どもをめぐる状況は、非行・被害の両面において、大変厳しいということが改めて浮き彫りになりました。

このプロジェクトチームの名称にもなっておりますが、子どもは親にとっても、また、国、社会にとっても、まさに「宝」であり、前回のこの会議の席上でも申し上げましたが、子どもの安全・安心を確保することは、少子化対策の観点からも、大人社会の第一の責務であります。

政府といたしましては、前回御説明いたしました「子ども安全・安心加速化プラン」等に基づき、関係省庁一体となった取組を強力に進めております。

本日の会議では、前回に続き、諸先生方に政府の取組を御承知いただくため、警察庁と法務省から、現在の取組状況等について御説明させていただくことになっておりますので、忌憚のない御意見を賜りますようお願い申し上げます。また、政府の取組の更なる推進を図るため、今後一層の御支援、御協力を賜りますようお願いいたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。